

# 器しの子帖 14



# ごきぶりのいなくなつた町

都會の薄ボンヤリした夜空に慣れ  
た目には、この町の夜は、きっぱり  
と暗い。

しかし、今は違う。時刻はもう  
七時を回っているのに、珍しく煌々  
と明りがついた地区の公民館に、先  
ほどからひつきりなしに車が横づけ  
され、かつぽう着やエプロン姿の女  
性がつぎつぎに降りては、中へ入っ  
ていく。

格好をみると、何か料理の講習会  
という趣きである。しかし、今は  
料理を作るのではない。

ここは岐阜県揖斐郡池田町。

そして、今はこれから地区の婦  
人会が全員集まって、池田町の特産  
品を作ろうというのである。

この特産品には、新玉葱が欠かせ  
ない。そこで、年に一度、新玉葱の  
収穫が終ったこの時期に作るのが恒  
例になった。

ちょっと中に入つて、その作業ぶ  
りを拝見するにしよう。

五十分ばかりの女性が調理室に集  
まっている。調理台に並んでいるの  
は、お揃いのミキサーと青いプラス  
チックのパケツである。

隣りでは、刻んだ玉葱の重さを計  
つてはミキサーにいれる。一緒に入  
れた白い液体は、牛乳である。

の腕前、おしゃべりの合間も、その  
リズムは変わらない。見る間に、マナ  
ーントン……快いリズムで玉  
葱が刻まれる。さすが主婦業何十年  
の経験によるものだ。

この夜、用意した二百個ばかりの  
新玉葱は、五十人ほどの婦人たちの  
涙とおしゃべりのうちに、一時間半



ヴィーン……ミキサーがうなる。

調理室に玉葱の匂いが充満する。

もうたまらない。涙がボタボタと  
こぼれる。鼻水は落ち、目はあけて  
いられないくらい痛い。どの顔も、  
笑いながら泣いている。

涙のなかで、ミキサーの玉葱がド  
ロドロになつていて見える。頃  
合である。それを大きなパケツにあ  
け、その上から小麦粉や砂糖と一緒に、  
「あるもの」をドサリと入れて  
何本もの腕が、よくよくこねる。

横の調理台には、黒いビニールシ  
ートが敷かれている。パケツの中の  
ものは、そこに広げられ、つぎつぎ  
に手際よく小さな団子になる。そ  
してできた直径が3センチほどの真  
っ白な団子……これが、池田町特産  
品の正体である。団子は、翌朝から  
一週間ほど天日で乾燥されて、製品  
となる。

この夜、用意した二百個ばかりの  
新玉葱は、五十人ほどの婦人たちの  
涙とおしゃべりのうちに、一時間半



後に九千個の団子となつた。



■池田の森からみた池田町——「池田町」といえば、ワインの町で有名な北海道の池田町、甲子園の高校野球で鳴らした徳島県の池田町をはじめ、長野県、福井県、香川県と、ここ岐阜県の池田町と全国に6つの池田町がある。同名の縁で「池田町サミット」を作り交流している。今まで特産品は、美濃いび茶くらいだったが、ゴキブリ団子が、もう一つ加わった。

池田町は、大垣から近鉄揖斐線でざっと二十分のところにある。関ヶ原の山むこうだ。その昔は、旧道沿いに百人を越す芸者さんがいて、学校の行き帰りにも、三味の音が聞かれた賑やかな町だったらしいが、今はその気配など全く残っていない。といって、町が過疎になつたわけでもなく、大垣と岐阜とのペッドタウンとして、人口は毎年三百人くらいずつ増え続けている。

そろそろ、先ほどの特産物の正体を明かしてもいいだろう。バケツを使うことでも見当はおつきかと思うが、この団子、実は食用ではない。

名は、ゴキブリ団子。そう、あのゴキブリ様用のお団子なのである。そして、小麦粉などと一緒に入れた「あるもの」とは、「ホウ酸」である。

ああ、ゴキブリ用のホウ酸団子か、それなら知つてゐる、という方も多いと思う。確かに、ゴキブリの駆除用としてホウ酸を団子にするやり方は、戦前からある。

しかし、この池田町のゴキブリ団子は、昔の団子に比べ、格段の効き目があるらしい。というのも、この団子のおかげで、いまや池田町のほぼ全戸から、ゴキブリは、その姿を消したからである。

婦人会の人たちは口々に言う。

「お仏壇にごはんをお供えしますと、以前はすぐゴキブリがたかるから、一時間と置いておけなかつたんですよ。でも、いまはご先祖様に一直到日中お供えできて、ありがたいことです」

「嫁いできた最初は、正直、台所に立つのがイヤでした。姑なんかは氣にならないようでしたが、目の隅にゴキブリの黒い影が走ると、どちらを作る氣にもなれないし、赤ちゃんにも悪くはないかと、心配でした。いまはもう、なんの心配もしていません」

「うちの子は今年四つですが、見たことないから、ゴキブリを知らないんです」

「私たちも信じられませんよ。でも、本当にいないんです」

「ウソを言つてはいる顔ではない。そ



■川本千代子さん（連合婦人会会長）

史以来はじめての町なんです」

そして、この実績をもとに、池田町では、この団子を町の特産品とした。町おこし村おこしが呼ばれ、多くの新製品が作られるなかで、手作りの殺虫剤が特産品になったのは、たぶん、ここ池田町だけだろう。

宮地・養基の四地区に分かれている。

その下に、各支部が合せて百近くあり、会員総数は三千人を越す。これが立ち上ることは、池田町ほぼ全家庭がゴキブリ追放作戦に参加することになる。とても商工会のお手伝いなどという程度ではない。

池田町婦人会が会を挙げてゴキブリ団子作りに取り組んだのは、いまから五年前のことである。その年の夏から町の商工会では、ゴキブリ団子を使う、飲食店だけのゴキブリ追放作戦を開始していた。

しかし、ゴキブリ駆除の鉄則は、まわり一帯が一斉にやる、というごとである。少なくとも、向こう三軒両隣りが心を一つにして敵に対さなければ、その効果は薄い。その点、飲食店だけの駆除には、自ら限界があった。

婦人会は考えた。商工会が掲げた「ゴキブリのいない町作り」という

標語は、非常に魅力的である。もし台所からもゴキブリがいなくなったら、どんなにいいだろう。やってみる価値はあるのと違う?

しかし、まだ信じられない。ゴキブリ団子を手にとってみた。鼻を近づけると、玉葱の匂いがするこの小さな団子で、本当にあのタフでしぶといゴキブリがいなくなつた(少なくとも目につかぬほど減つてしまつた)のだろうか。

婦人会会長の川本千代子さんは笑いながら言う。「信してください。うちでも、全く見なくなりました。この池田町は、ゴキブリがない有

# 衛生害虫、ゴキブリ追放宣言

ゴキブリのいない接客業と飲食店をめざして  
「衛生的な町づくりキャンペーン」 池田町商工会

婦人会の人たちにとってゴキブリ団子を目にするのは、これが初めてである。

首をひねりながら作った。なしろ、作り方は簡単だし、使う材料も台所にふつうにあるものばかりだ。秘密兵器としては、あまりに頼りない。だから、涙ながらに作りあげたとき、殆どの人は眉に唾を付ける面持であった。

「こんなもんでも効くんやろうか」

そして、不審に思った一地区は、追放作戦から撤退することにした。

しかし、残る三地区は、とにかくやるだけやってみようと、地区の公民館に松岡さんを呼んで、団子作り講習会を毎晩のように開いた。

だいたい、一家に三十五個から四十個の団子をつく。まくところは台所ばかりではない。応接間も、納屋も、玄関も、納戸も、家のいたるところ白い団子が置かれた。

やりましょう。役員会は一つにまとまり、商工会のお手伝いをしま

った。商工会の手伝いをしま

った。商工会の手伝いをしま

った。商工会の手伝いをしま



■谷酒茂雄さん（右）と松岡浩さん（左）

婦人会は、団子を持って、学校や病院、銀行にも出かけた。置いてもうためである。……やるからには徹底させなければ、意味がないじゃないの。

町中に「ゴキブリ追放宣言」なるステッカー（写真）が、張られた。

そして、一ヶ月がたった。

町の至るところで、ヒソヒソとあるつぶやきがささやかれるようになつた。

ねえ、いなくなつたと思わない？ おたくも？ うちもなの。

効いたのかしら？

それは静かな変化だった。劇的にゴキブリの死骸がみつかったわけではなく。しかし、気がつくと、夜、あんなに目にしたゴキブリに出会わ

谷酒さんは 63.6.24. 元々

なくなっていた。壁をチヨロチヨロ這つていた姿も、見なくなつた。

ささやきは、大声になつた。  
いなくなつた。ゴキブリがいなく  
なつた。

力をえた婦人会は、置いてもらつ

た銀行などを巡回し、団子を見せて  
もらつた。団子のアチコチが欠けて  
いる。ゴキブリのかじつたあとであ

る。それは、自宅の団子と同じ傷跡  
だつた。川本さんのところに、団子  
を配るのをやめた地区の代表者が飛  
び込んできたのも、そんな頃であ



「池田町にゴキブリはいません。池  
田町はゴキブリのいない衛生的な町  
が、あります」

◆

垂井は池田町の隣町である。こ  
こにゴキブリ団子の産みの親がい  
る。谷酒茂雄さんである。

今年で定年というときまで、谷酒  
さんは、ゴキブリとは何の関係もな  
かった。むろんクスリの知識もな  
つたし、昆虫の知識もないに等しか  
った。ある日の夕方だつたと、谷酒  
さんは言う。その頃は、会社をやめ  
たら一体なにをしようか、そなへか  
り考へていた毎日だつたらし。

そんな谷酒さんの前を一匹のゴキ  
ブリが悠然と横切つた。生意気な奴  
め！ 手にした新聞を丸め、谷酒さ  
んはハッソと振り下ろす。しかし、  
空振り。

無理はない。我々が目で見て、次  
の行動に移るまで、どんなに早くて  
も0・何秒はかかる。しかし、ゴキ  
ブリは、感じた情報を行動に移すま  
で0・003秒しかからない。振  
り下ろそうとした風圧、谷酒さんの  
影、ゴキブリにとつて、すでに逃げ  
る準備は整っている。

よし、となぜか、このとき谷酒さ

る。「お団子をください」

半信半疑ではじめただけに、婦人  
会の喜びようには、すさまじいもの  
があつた。一年後、婦人会は宣言し  
た。

んは思つたのだ。ゴキブリをやつ  
けるクシリを作つてやろう。

会社をやめた谷酒さんは、自宅で  
何千匹というゴキブリを飼いはじめ  
た。「奇人・変人」と噂がたつたが  
谷酒さんは気にすることなく、ゴキ  
ブリの好物を調べ出したのである。

好物さえ分れば、それに毒を混ぜれ  
ばいいのではないか……

文献をしらべると、好きな食べ物  
としてジャガイモ・ニラ・ネギなど  
があがり、嫌いなものとして玉葱な  
どが上がつていた。たしかにジャガ  
イモには、よく食いついた。しか  
し、嫌いなはずの玉葱にも、実際は  
ジャガイモ以上に、よく食いつく。  
どうやら、あの強烈なニオイが好き  
らしい。

谷酒さんは思つた。文献はアテに  
ならない。というより、ゴキブリの  
好物の研究など、ほとんどやられて  
いないようだ。これは研究してみる  
価値がある。

何年かたつうち、毒はホウ酸でい  
けると見当がついた。そして、ゴキ  
ブリの好きなネギ、ニンニク、ニラ  
玉葱などを混ぜた団子を作り、毎日  
毎日、ゴキブリに食べさせてみた。  
ゴキブリがもつとも好んだのは、  
生のニンニクのにおいだった。しか  
し、これをすり下ろしたものの臭さ  
といつたらなく、さすがの谷酒さん  
も諦めた。ネギもよかつたが、これ  
は水気が不足していくて、うまく団子

にならなかつた。こうして残つたの  
が、玉葱だつたのである。(玉葱は  
この辺でもふつうに獲れる)

ゴキブリ団子の調味料ともいえる  
小麦粉の量も、砂糖や牛乳の量も、

一つ一つ量を変え、実験を繰り返し  
して、およそ十年かかって、現在の  
レシピにたどり着いたのである。

玉葱35グラム

ホウ酸500グラム

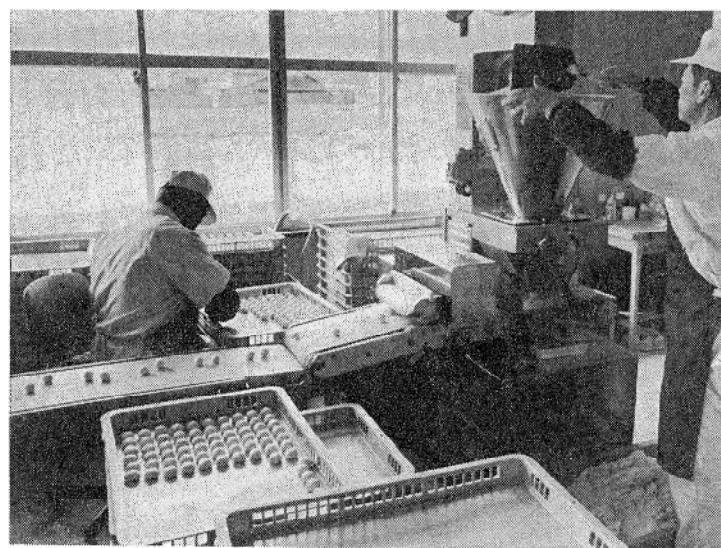
小麦粉140グラム

砂糖35グラム

そして、牛乳12グラム。これでざ  
つと七十個から八十個、つまり二軒  
分の団子ができる。生の玉葱をすり  
下ろし生のまま使うことが、谷酒さ  
んの工夫である。との材料も、ホ  
ウ酸以外は、台所に普通にあるもの  
である。見ようによつては、なんと  
も単純素朴な配合の団子だが、しか  
し、効果はあるし、なによりとつ  
きやすい。

池田町の婦人会の成功は、予想通  
りだつたとはいゝ、谷酒さんにとつ  
て嬉しかつたことにちがいはない。  
自分の作った団子が、十年目にして  
やつと市民権を得たのだ。そして、  
池田町の成功を耳にした近隣の町や  
村に、ゴキブリ団子は静かなブーム  
となつて広がつていつた。

そして今、このホウ酸を使うゴキ  
ブリ駆除が、見直されている。



池田町にある谷酒さんの工場では、今日もゴキブリ団子が次々に作られる。

スロイドで、スプレー式や燻蒸式に多く使われている。

いまの主流はビレスロイドのほうである。手間は簡単だし、効果もハッキリしている。シニーッと吹きかけるだけで、ゴキブリは神經マヒを起こし、死んでしまう。

しかし、これが一発必殺ならいいのだが、しかし、あれほどたくさんいるゴキブリである。なかには、クスリの量が足りず、フラフラするだけで助かるゴキブリも出てくる。それが、やがて、その毒に強い体質を持つたゴキブリが増えていくことになる。これが耐性である。

ゴキブリの駆除が問題になり始めたのは、わりに最近で、昭和四十年代くらいからだ。当時はディルドリンなど有機塩素剤がさかんに使われたが、人体への害が大きいことで禁止された。しかし、もし禁止されなくとも、使われなくなつたと言っている。これも、ゴキブリに耐性ができきたからである。

もう一つの有機リン剤は、耐性のほうは問題ないのだが、人体への影響と、塗る手間が面倒で、家具や建具に木材が少なくなった結果、あとが汚く見えるという欠点があり、業者でも使っていない。

ゴキブリの殺虫剤には、大きく分けて二種類ある。一つはゴキブリが歩き回るところに塗つておいて殺すもので、有機リン剤がつかわれる。もう一つは、速効性のある合成ビレ

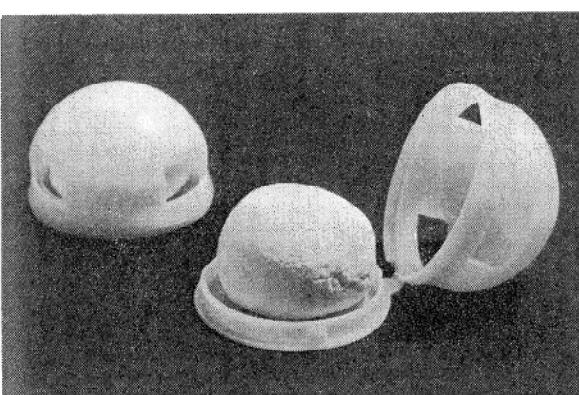
だからこそ、ホウ酸が脚光を浴び、いくつもの新製品が日本の内外で出てきているのだ。

その一つが、この池田町のゴキブリ団子なのである。あるテストによると、この団子の殺虫率は、2カ月後に、90パーセントを越したといふ。しかも、においがなくなるまで

効果は一年は続く。なんとも、安上りなクスリなのである。

婦人会では、その後毎年、ゴキブリ団子を作りつづけている。一年ごとの役員改選のあとは、必ず新役員を集めてのゴキブリ団子作りの講習

◆  
■ この団子ケースは(35コ入り千円、送料とも)くり返して使える。  
問合せ先 岐阜県不破郡垂井町綾戸951-1  
電話(05842)1-2-1356



自分の家庭に置くだけではない。親戚中に配る。家を離れている子どもたちのところにも送る。簡単にでき、本当に喜んでもらえるのが嬉しいという。

婦人会の仲間に会えるのも嬉しいことの一つである。いまや主婦も忙しい。どんどん工場ができる池田町では、パートの口はいくらでもある。いきおい、どの家庭でも働きに出て、昼間にゆっくり顔を合せることは、ごく少ないのだ。

もちろん、一人でも作れないことはないが、あの涙を考えると、「仲間と一緒におしゃべりしながら」作ったほうが、どれだけ楽しいかわからない。

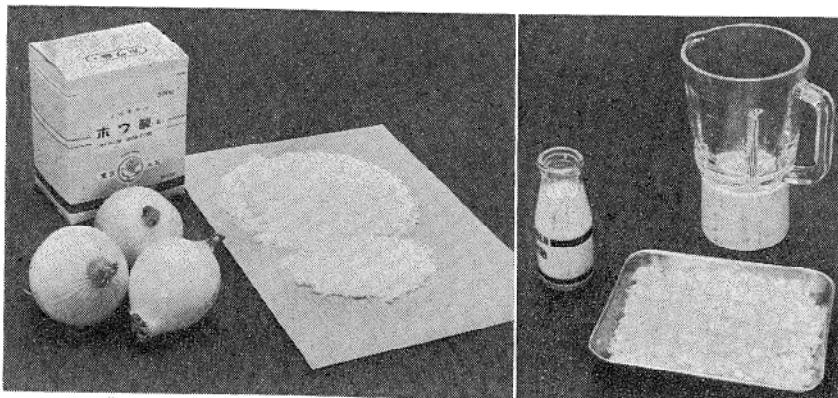
いま、池田町を歩いても、「ゴキブリ追放」のステッカーを見ることはない。婦人会の面々の顔からも、かつての熱氣は影をひそめている。しかし、それは、この追放運動が、やっと地に足をつけた、なによりの証拠なのだ。

すべてが池田町ではあたり前である。ゴキブリ団子の効力も、涙を流しながら団子を作ることも、そして、家庭にゴキブリの姿が見えないことのほどはハッキリしない。

見たところ△お彼岸団子のよくな形をしていますが、つまりは殺虫剤です。成分はほとんどがホウ酸の粉末。これを団子に丸めるのに、すりおろした玉ねぎと牛乳だけでこねます。

水は絶対に入れてはいけません。玉ねぎも皮をむくだけで水洗いしないこと。

この分量で70個はできます。2家庭分ですから、どなたかご近所の方とご一緒に



にどうぞ。団地ぐるみ、町内ぐるみの前に、まずあなたのご家庭から。

#### △用意するもの△

ホウ酸(末)1箱(5百g入) 玉ねぎ小  
3コ(みじんに刻んでカップ4杯) 小  
麦粉(強力粉です) カップ1½杯(14  
0g) 砂糖大サジ3杯(35g) 牛乳  
大サジ1杯(12g) それに、ミキサー。

洗面器。板。ビニール。

#### △作り方△

1 玉ねぎの皮をむき、あらいミジン切りにします。ミキサーに牛乳大サジ1杯を入れて、玉ねぎを一にぎりずつくらい入れては回し、入れては回しして、ミキサーがよく動き出したら、2~3分回して、すっかりドロドロの状態にします。

2 ホウ酸を箱から洗面器にあけます。固まりがでていますから、スプーンの裏などで全部つぶします。そこに、小麦粉、砂糖を入れます。

4 板の上にビニールを広げ、直径3センチくらいに丸めて並べます。

5 カラカラになるまで、一週間ほど毎日、天日に乾かします。生乾きのときに雨や夜露にあうと溶けてしまいますから、毎日忘れずに取り込んで下さい。ビニールを敷くのは、せっかくのニオイの元を紙などにしみこませないタメです。

置き場所は、台所だけに限りません。あなたがゴキブリを見かけたところに置いて下さい。テレビの裏、電話台のうしろ、洗面台の隅、洗たく機の裏、本だなにならぶ本の向う側などなど。意外なところに巣くっています。

ただし、家中の物かげにおくわけですから、子どもや赤ちゃんが、好奇心から手にしたり、口にしたりというこのないうや、くれぐれも注意して下さい。この団子1個の中に、幼児の致死量を優にこすホウ酸が入っています。安全のため、容器に入れて下さい。

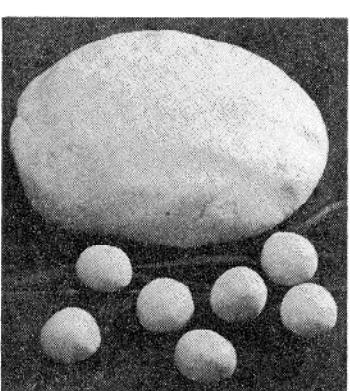
この夏、団子の効果がどんなふうだったか、お知らせいただけたらと思います。

3 さらに、玉ねぎを加え、こねます。粉が多く、水気が少ないので、はじめバ

サバサですが、まぜたりこねたりして、だんまとまっています。

池田町の成功の原因は、今までと全く同じで、駆除に立ち上がったことと、ゴキブリ団子の効果である。そして、その原動力は、女性の力だった。

見事である。



ゴキブリ団子の評判は、ゆっくりと全国に広まっている。岐阜の親戚から送ってもらった30コばかりを使つてみた、東京杉並のお宅でも、彼らの姿をみかけなくなつた。田舎からこのプレゼントに去年一と夏が快適だったという。名古屋の高藏寺ニュータウンでも、数千をこす全戸にゴキブリ団子を作つてました。問合せのあまりの多さに、とうとう谷酒さんと松岡さんは、厚生省の認可をとり、工場を作つて、売りだすことをはじめている。

家庭で普通に見られるゴキブリは大きいクロゴキブリと小さなチャバネゴキブリである。この二種は、人間の家庭にしかいない。自然の環境のなかでは、住めなくなつたらしいのだ。でも、もしかするとこの二種が絶滅する日も近いかも知れない。少し可哀そうな気もするが……

ただ、ウガイ薬や目薬として馴染みがあるといつても、ホウ酸は毒薬である。取扱いには充分注意してほしい。